風水害重にそれによって治水変更変、関野型の関格、未負育の悪ごとがあった、総督、總監の更変、関野型の関格、未負育の重要な出来年に入りません。

**將化石氏の命に依り十八日陜西にある中央電各部隊に對して勝型度【上海十九日周盟】討並總司令何應致氏は蔣鵬文氏に依り覧された** 

喜ばしき便りに接したので陜西の前線にある中央市に對して新伐け頭蛤されたが蔣介石氏は明日(十九日)南京に帰還するといふ

単に對する攻撃を即刻中止する線整急能令を離した

牛島の前途洋

らさ局政那支

(一) 廣西側は飽まで抗日的間に配り時間が限いるという。

脚の行動に出てたが反乱で勝者一点文氏を釋成の主要原因は彼が不 【館京十八日同盟】磁學良氏が將 鼎文氏釋放 の主要原因

ると共に囲場山、海正学用氏に割

で至つた意めこの不利な形勢を鍵」 歴史良氏の断臓を求める方式と見るすか自ら改善を誑くかの外なる | 酸まで武力討伐に出る態度を振り 央が思い切って果飯の情報を執りとり提出した八十億の要求を一貫のして後の行動に反対し且つ中にれば買し中央側は過じ歴史医氏 のでこのまと能够せば時介石氏を一無便供着院を要求し之を容れおば

た製蔵を許さの情勢にある

間で言ひますが私は三十四 か無ければ幸福だー 人間は三十五年「不幸」 人一話 Ł

の仲間入りが出來ると思つ して來ました、私も幸福都 年間「不幸」がなしに過ご 子

風(四)

へてはアット死んだのでは

民とが、知りに呼り置けてゐた。

亭主の際兵衛と女房のお

「さア、質アやもそいつを考へ能

「お削さんは、脚全さんの片棒を一だ。あれでも苦ア、

元神、銭大釣崩氏も既に歩行可能 た神、銭大釣崩氏も既に歩行可能 人の対発なること及び重朝と「B」思ふんだがの。」 した、配して蔣脈文氏が認掌した日常の行過を受けてゐること判明 から、悪事にかけちやア人一倍器一から、儲けは半分と ないわ。何しろ連注学にゐた時分 「でもあたしやあんまり気薬はし

そんな心能はいらわえ

### 出動準備を下合す 停を低戦するに至ったと解される た、張學良は蔣介石に見ゆる毎は常は余等の居所に來て會見しれる完全に拘禁され張學良のみ 生還第 **蔣鼎文氏談話發表**

「派が爆彈通電

【南京十八月同盟】蔣淵文氏の歸

「京を迎へ國民政府は十八日緊急館」た上之に基さ今後の財策を協議し 一説を開き時間又氏の聚伝を聴取し

緊急首腦會議

は毎月第介石氏に達見するも 地自政所単した由であるが 地自政所単した地であるが 地方政所単した地で、記學良は発 に余に蔣介石氏との面語を約束。 くれた、宋が蔣介石氏との面語を約束。 くれて民と原理に思るを許さなか くれては、年ので、記学良は発 にないで、なが蔣介石氏を見るに思 にないで、なが蔣介石氏を見るに思

は騙れ、而して各方面に余が園 所介有民は余に云つて曰く「汝 所介有民は余に云つて曰く「汝

コリと甘五にもなる娘に死て凝んでゐましたがヒヨウ

と言へば一人間ですし が狂つのですが、

(135)

檶

ぎると云つてるんだ

130

けれど、どの道お削さんがみない 一どんなことがあったつて、概なり たア出来わえやない となつて、小股をすくふやらな ればつて、様なんかする領遣ひは してくれたことがあつたんだ。今 ことにや出来る仕事ちやないんだ 「それやア小股をすくッちや思い ここう思くばッかり取るなッて 先が前間に取るなアまづ理説だアから、総金側にいつたからツて、 「あれだもののお前さんは一杯飲 ていけないよっ どんなことがあつ おれに儲けさ ご疵ねでるんだ か一枚上だる 伝媒語シなつ 話がおじゃんに そ三分どころか はねえがいいっ くれなくつもの てんたよい でも五分の分け 飲んだからず お削さんに 3 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 000000000 夜間營業 御調製申上げます 每日九時半 まで も皆 殿 全店大福 お ₺ 方 坊



予自身については子の誰必得た限り十九日午明福京に闡望すべき機能学中・止る証明線に「下命す」べきを重要語する、昨日(十六日)中央框による。 超潮機器に営き子は投下に 直ちに中九日南京へ脳湾イベきことを表明左の如く端イ木 用立士九日同盟】蔣那文氏の雌した何歴欽氏宛の群職で蔣生石氏 原果于人目問題 関東軍側の消息によれば全景には十八日間首省以外に応じてる軍隊に航政令を続い出地門所を祀いたに局面に俄然一大波紋を探さ起すに至つた(宮原上李宗仁)、下白崇禧兩氏)は局面に俄然一大波紋を探さ起すに至つた(宮原上李宗仁)、下白崇禧兩氏)この帰彈的通電の門道を決いた、耐いと選続は名の結果を展起談所始める資産地に致長覚徳に打造したが廣西派のこの帰彈的通電の門道を決した。耐いては中央の軍事行動に對に対方側は他まで抗日救國主義を堅持す(一)西安専件については中央の軍事行動に對 と考へる故に學良軍との変職を組對に避け同時に協脈を即時 何氏宛の書翰で | 歴史征界の消息によれば本宗に、白奘語、本漢理、黄班知氏等の首殿部を網鎖する歴画派の桂林語識ま十三百より 討伐中止を命ず 子は本日南京に歸還せ 子が討伐軍總司令に就任するや否や即紀大規模の轉員が上海大人日間盟)阿陽敦氏は學良軍攻戰中正に劃し越表 討伐を中止す 何應飲氏から發表 奥都市として共備すべき昼間を行による道路、病院、ホテル等の新 方針により羅徴府に對し葡萄の手れによつていよく〜駐補一組の大 生術共同で行ふ方針となりこの結 に則り潜々と計成軍変が進めら 編律がでは日下總督府の根本方 難にはじめて都川部書を實施し一施設、熊蘭一姐に郷出すことにな るるが即に南部骨が心腔同府 した結果羅律の都市施設は の都市建設に

**満鐵側の建設具體內容決定** 

それに大 連邦京 でも競技す ととなった、選がのである。 之に関っては子ルとか構成とと、選がのである。 之に関って母子ルとか構成ともかである。 之に関って母子が許は機質がで行ふこととなった。

右について南總督は十九日次の如 は近く大連、新京でも顕微から観 りこれに闘する細部にわたる項目 羅津の崩蝕は鮮浦一畑の方針の ◇ 南總督談 定した内容が私まで同けられた に関する時間で発出してところ同 がよるから提唱したところ同 がと私から提唱したところ同 がと私から提唱したところ同 がとるがのが可能改変の状 に関する時度の新りませい。

徳王が發す

天地支黃

にから、悪い仕事おやねえで

津港の使命は軍且つ大となった 容左の通り

帯びることになったのでこれに對

しても同態衝撃によって積極的に

ふことになり、さらに同佳職問題

大職を西安に家る、梁古宮民職 情せざるはなし、中央は我に新 かに野介行氏の急を致ひ 逆便を かに野介行氏の急を致ひ 逆便を を除せんことを、現火は安富な る方法を以て梁古民族の単存の の方法を以て梁古民族の単存の 地質を開れた。いづくんぞ間の関係に 東京 としても、明道を集べれた。 もなり、無政府形態ともなる ある。言ひかへれば群雄刑様と 文那は地方分撒へ極換必至と

東洋の 平和は 東洋人の東洋の 下和は 東洋人の

の間にあつ

にしても理由がはつきりせず 明備上作に振馬をかく。明邦の 日南が共脚定英國の南支南洋

ヶ月にわたり国防獣金をした人

豫算審議延長

來議會から實施せん

完全な経を開して

◆江海鐵道局建設課長 十八日端城

十八日東京へ

◇細川砲兵第廿六局隊長

れに對し或所に注意を喚起し或所に終る恐れあるので各方面ではこ

フォマミュー 申して新たりを重り来 ・ 中国の変更を終って支援なき取り来 ・ 中国の変更を変われる。 ・ 大田教道局建設・10年 ・ 大田教道・10年 ・ 大田教芸 ・ 大

本日夕刊

八頁

年的化へ――熊嶽 年的化へ――熊嶽 一になってのさっ』 全度は高等級門架長の入事が一覧に、もっとばかり勝に落ちない

だけど、今夜あの人が云つてた言 | ても、五分五分にしてもらはない

おで、危ない器を渡る甲斐がない でにや一度は坊さんがやつて來る























品用月正お 品質》 り段値お 

ひで丁 んな ŧ つ お 5 嬢 引つき 屋へ Ċ 奥 0

地立に西地することとなった、こ

、医病の早期酸処をなし、 回以上の定期的版形の

体蓋も出來ないのと、朝鮮の能動務は益々過激に陥り完分なるは常に不足勝である爲に、其の

| 定は十年的に作製したもので、こ | に亘つて行はれ、戦多の新機械を | 改正を 行ひ、設備と 質篩 運輸と

**九等の設備に比例して何等の時代 | 出すことになつてゐるが、列車連 | の跛行的駅间を除去するはずであ** 關係の設備信號その他に見違へる一度正に着手、明秋から新連幅規定一連首軒を出し得るなど

部の電影の世界対象の歌時では テーブル・スピーチの窓の後 [連 手・対ル・スピーチの窓の後 [連

演説集』は軍人必携の名著だ

福品

大三出版 特護士 北島近外郎 特護士 北島近外郎

**经区港市店** 

度も時速を従来の八十年から九十一ら

鐵道省に並行して

理師後健康を書する者が漸次增実長者の影響 も原因して

霜塊にペルメル

て、非常時の緊急部の健康を救ふ一大健康問題が確な

濟、組合の個度を擺掘してこれ等の党して來たが、今回朝鮮繁聚的共 発言、消防製造の健康についる

三橋警務局長語る

各自の分類単務が過車であるの 然るに之等権病無深回の中には の数に達するに至るのである。 突患に侵される者が毎年可成り

列車のスピードアップや確認力の

加に伊・列小山被等では近世間

不使が多しので、愈上十年振りに | 實際列車運動の際は局部的には時 |

列車の運轉にも極めて一杯に十杯の引上げを行ふはずで、

に質励することになる模様である

年育を加した。 大明
厳慰院職味へ講覧で第廿二回学館では十九日午後二時半から世

臭他一般皮膚病の其栗 のはんぎんたかし のなかし の水がし

京田寺立にあり 二十級

現在節品にかける四級

設備と實際運轉とを進行さず

やらな過步売賞を示してゐるが、

によつてスムースな列車連頻を行

重要な改正を加くるも

は年々増加して十年度は約百萬

から十二歳までの小兄の半額原金

全般天氣豫報

無理押し寄から登に疾病、不起の 9のがは出するので、三種類務局 は音田以来前安の軍費にある警

め、鉄管した器は須織駅帯に復き「るなど年勘質器屋をして後継の」「背には非常なる観音であるめ、鉄管した器は須織駅帯に復せし、け優遇して開後の観査に當らしめ、に収怠せしめるという生島会養態め、鉄管した器はしてそれを感時に利用しむるが辞過不良の物は出来るだ」「選集」しなからしめ十分に駆搾

鐵道運輸の現狀に應じ

憂ひなく職務に惠念せしむ

康確立に邁

各道各地に診斷所を擴充し

一萬警官らの

ぐといる神宮富島の厚い心強し 展へてゐたのを、今後それを訪 の祭式の時には動列者が懸さに

きつける残魔を避け、

明春から

辞することになつた

驛の改名

軍浦ご利原驛

の柱と柱の間に板戸を取けて、これは従来の吹きさらしの採設 担旨は縁層語りで上説行一匹五 者の母に平蓋も開炉してある の三つの紙の間だけは一般意飛 一国を要した豪華なもの、前面

かけ路面の掃修と市面側に入道 ずる東麓直は約四角圏の工製を 三た網鮮弾宮から京城弾社に通 二つの竣工奉告祭

からこの二つの総上奉告祭を執 (知真は出来上った附巻

**時郵何島順に各都当日扱きの場所** 

年四郵便の洪水に備へっために郵 出すことをするめてゐます。また 一末の街頭に早めに年四野災を岩 は看板二千個を場げて押し迫る 京後間従来の三回連門を

寺を舞台に インチキ賭博

モと思潮の銀行であるので本町器 に 野舎兵城府内にモと思潮が渡行。

|||支那人十一名檢學、現品を押收 うち女三人は夜の華

東大門署に檢究された京城、場からモヒ郎一揃につとめてある。人十八名を検慰、引続きその本雄、中には妙範文那笑人三名を聞つて二人が共、謀とは各職郷都等と協力、防烈の立。その遠緒をつかみ、支那人、朝鮮、ひ、王と十名の支那人を撤銷した・・ン・チ・ | 野門 ありと時に翻る麻漑密図網の内査、除は十八日波十時ごろ京城太平通 が、先づ歴史出致者を検撃接続に一を捜査してあたが、突如同等和事

## |脱の炎紙六十萬枚を各地に配布し|| 去る十四日東川雄茂総里孝徳範比|| インチキをやつてはお上りさんを要便の線脈敷皮を行ふことになり|| 三八祖インチキ賭博師については|| インチキ花札で郊みに獲きあげた殿健の線脈敷皮を行ふことになり|| 三八祖インチキ賭博師については|| インチキ花札で郊みに獲きあげた庭よあす廿日から廿九日まで非智|| 仁義明一六九殿時級(ギ兵)|| 名の|| 凸る事質を削り清潔字へ連れ込み庭よあす廿日から廿九日まで非智|| 仁義明一六九殿時級(ギ兵)|| 名の|| 名の事質を削り清潔字へ連れ込み て利用者の利便をはかり、一方金1~20外一名が百四十圓を所持して、泣かせてゐた事物明した

部輪々に成譲戦松電闘を、2利版「査中」総合しは十八旦夜主奏の金月間を近局では京菱瀬東浦舞闘を2年 持つたます安全職した本町署で 六十萬の表紙を配る 雇人百圓持逃。京城本町

ナルロ午前十一時から三時までの 町大昌底部止沼客林東源君(で)は 旅館で金紛失。京城淸逝

分を押収した、一味は切に歌節を とり手機く摩擦の密質網を張つ

醜い蠢めきの中に登懸の花を吹か あたが、<br />
更に右の女を中心に<br />
監役 せてゐたもので、總不樣は他にな

目下級里で調へ中である

射撃さる にしてタナ人

品

п**50** п**20** 

n/0

n 05

社會式林选酒包山

1 # 1,00

ウロ近郊路位の日本人十六名は、 せた、少年は半死半生で耐く陥字 し手牌で少年を殴打し重切 取したので、日本人農職主が買っ ル日本人陸艦に入り込み果買い 【サンパウロ千八日同盟】サン 位のプラジル少年がサンバウ モンテ・アプレジヴ

景品券一枚宛封へしてあます

好樂家熟望の名器人

(本語は趣度) 経験を修した7日二六型の結果を上して設計された投薪式四域管泉費をは優多の改良を施し、遅特の圧燥回路により、管域に一層度められ、原管のもつ見てのにより、管域は一層度められ、原管のもつ見なの。

社領の如くなつて小銃を関へ醍醐 能したので、父親は極度に閲覧 専門を交親に派へて間もなく略 本制の経験が経済が

傷を見た、急報に接しサンパウロ

警察では直ちに現場に出致。

平壌と自岩の

兩機關區表彰

はツーサン奈倍が語るではツーサン奈倍が記さい。 はツーサン奈倍が取ってる時間による時間による時間による時間の有効収行を主要の特別の行を主要がある。

単放送斡規程に基いて近く吉田局

当局では昨年五月間足の運動が

以は平国権闘協の二百萬杆、

小兒科學會

日本小品科

**次の共鳴効果が得られるやら散計されてをりますと盛り、典雅なる胡桃色仕上げ。且つ樗造には最で盛り、典雅なる胡桃色仕上げ。且つ樗造には最下ヤビネツトは韓に上質材を用ひ。薫匠に新鮮駅** 

財政十行奥、时九十昭、三の分四時二十三5名

(寶發日十月二十)

## (四球・ダイナミツク機整器裝備)

豐溫

JE-27型 ¥ 190./

電源=交流五○-六○サイクル南用、豊油五六、KX-八○各一個。 五六、KX-八○各一個。 地燈線によつて御使用出来ます。

肥: れ よ 正: 伸。 し び く よ

すでキテスはのもへそね すで縄瓦 すまりあに店子裏

彼女らの懐ろには 信得を一刻も早く父母に見せた 校長先生から溫情籠る十戒

門に波打つた――と漫刺な脚線の群れが各校 **圏役女祭の僕ろには校長** 

近く 三等要量料金の引下

と前行して三陸駐脳料金の引下げ

作体限を利用して職深間習所をご

京城府では京城公立県通学校の冬

職業講習會

の風景時々雪が降る後次第に良が降つたり止んだり【明日】北の風雪

【明日】北西の風景後研察くな京城地方 【今晚】 景り小司

想つたり 後には登

公立普通校の

月十一日から同十七日まで一週间

等下多世四七十三世 最低器度七(十九日)年前六世 京城温度(十九日)年前六世

東京市北/内

ら質励するはずであるが、同敗正

鐵道局で實施の研究

はをサービスすることになるもの 場合はこのうも五十萬人、甘萬風

これを六歳まで無貨に順大する

制服の虚女』七千

医回慢 田 小后 質質側距の美属を強ふこと、 光生よりの冬休み の生 徒心得 ・國家非常時に浮華政経を吊け

週间は外しく離れてゐた既の要 つい十九日午町十時終業式が終 近づく元旦の群びに夢を定らせ ると、明春一月十四日まで約三 ふこと、男子との館合やスケ

事を手牌ひ動勢好愛の習慣を辞 をせざること」等を十数ケ船

千の麒麟の魔女連は解放令が一

は故郷に至を目の前に描きなが

御正月御重言 対はは一種 御師申上ま

距离 元祖· 蝮粉末 · 概替口座京城七一八番朝鲜 · 京城府古市町十四番地二六 五万分一地圖大賣捌 万分一地同

坂井耳鼻咽喉科

井尻

頭腦豐

の必携難!

のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、

1|1 林商店

· 類層語 部

**示燃った)が出て来たので根容値は** 発売呼び出したところ鼻の長男臭 続("a)は十六日午後六時賀弟朴容

| く謎部|| 旦下留路夜調べ中である 環因は破ぎ者や地女は加雪者の 様しさから本年五月より翻案の 様しさから本年五月より翻案の

してるる吴夫婆を殺害し亡兄にで喧嘩までして朴兄弟は不敬担的はそれが明たところ隅々數目的はそれが明れてもの間には反目嫉視の間格であっ

海州」海州郡秋花面場德里朴容

髪であった同人の内臓の密や低女孩へて同里英雄使ごう及び亡兄の

ごを設定すべく臭風気方を襲ひ

再嫁した嫂を恨み

組合では十六日西線脱頭を肌き脂不正を指適した決議文建表により一

歌節に對する不肯低離に業務上の | 中であるが服金及地金五百組錠を(繁重浦) 産業組合践一部の組合 | 十一日書陶智段に逮加され敗調べ

狂ふ冬

新安州地方

した報告によれば去る
・一三日午前一つた自起黄を唱んだため螺縛し口 【大師】十八日楊殷北保安課に選一の甥李嘉典(「」)は衆と開連へて拾

一唇、前間その他に一ヶ月節の道像

鬱質睛

事の採った「懇願を召集すべし」

に同端上解伝を表明した、以下の越間間により吉陽組合長は

徹ものゝ兄弟協力して

食刀で三人や斬る

大邱の職紹に押寄せた

ばむほどで或は大地能の即兆では一般の吸かさ、外替を着てゐると汗 い夫候であつたが大昭測繁所の謎とないかとの流言さへ飛び発味の悪

渡じた

列車も運行不能

スツカリ限り往来の経防に珍期を

に低下し雪となり十八日朝に至り

けて大邱地方は師走とは思へたい

【大邱】すたしても三十年来の夫

・・十七日から十八日にか

臨時求職者の大群

産組のお家騒動

組合員の幹部不信昂じて

の多が訪れるのことで聴いあと急からまた響くなりいよく一本樹低低し観溜もボッく一節り十九日街

か十八日戦略から夫候も次第に恢

【新安州】价川線空間里、价川間、十一分入四三列車より開通した

栗と間違って

爆薬を喰ふ

罪な自起養の偽裝

十一の少年大怪我

組合長も辭意表明

慌だしい蔵末減分を加賀に描き出し正子までにはその数四 ものかは様のぬかるみを置いて水脈器の群は引きもきらず所観を面喰らはしてゐる、十八日は鄧からし上圧隆る雨も 出された破時求職者の誰がドット大呼職業紹介所に流込み【大郎】歳款迫れば流石身にしむ肺走の風に出舎から押し

悩みは果なし

一十年來の冬異變

薄氣味悪い高温に流言さへ飛ぶ

しかし弗々酷寒が來ます

こ既下 150とより下入日間ととり | 河川は假郷上に増水し後に新安州 | 方では十六日頭から十七日安米至温急機 強鞭中の평十六、七暦日の鬱坤で方では十六日頭から十七日夕にか | 落葉既良工事中假臧を歓迎と列禹

威末迫れ ば

自を突破、同職船開始以來のレコードを示した、そんな工

# 取込み詐欺露

さて眞疑のほどはなほ判明しないが

# 債鬼連内幕を發く

他のであったので今回の火災による抵牾性重五干面と一般資便二英五干面は像魔金と豊父から三英国の舵道を受けて会計八萬面の附してあつたので今回の火災によるもので保険契約前一面出火し今回で三回目の出火であるが、最新周家には二英三千面の保険をあるが有は取込み詐欺の容疑によるもので保険契約前一面出火し今回で三回目の出火であるが、最新周家には二英三千国の保険を入るが、よの十二月廿四日全球した時内市場可維護商場の鉄道で、不列三名は数日前から大麻宮に引致され厳秘罪に政調べを受けて、大郎)よる十二月廿四日全球した時内市場可維護商場の鉄道に **代で、その商品を京城方面に半値で剪却しそのらも二萬五千国で鑁山を買収したことが優観者間に知れ常島のဆ動となつたもの** を五萬三千圃で打切つたところその後濶査の結果質優は約十三萬珮陈ありしかもこの大部分は最近三、四十日間に買入れた商

る難に鑑みて今後も火災のあつた堪合は徹底的にこの動を糾明して明にし世間に色々な護解を呪傷されないようにする考へだ。項角火災が起るといろく人な噂が乱れ飛ぶので目下取調べを進めてゐるのであるが、保險命とか品物代なんかと経惑の中心にならかられてゐる、なほ随轍者の懇頭は日本紅樂の二萬五千匱である、右につして大邱楽堂計法主代は趣る

ものと申立てゐるが詳細は目下取 た、モヒは安東縣から密輸入した 潤べ中な任紫側のモヒは勿論モヒ

介者韓錫龍つこを検撃して引揚げ

年増了 懸るよ女の心―――――――――― 女房やアい

吹雪の中を出動して、包圍攻撃

變る女心

つた金箔楽君は百方を が同女は ヶ別れて 泉れないと 所に従き込んだ てゐるのをなだめて連れ戻つた たまらず十八日平陽岩人事相談で聞き入れず去ら十六 景心 超つて十八日宮家に潜伏し 死ぬ々といふので金君は必配で

永九("a)李野末、李茂奎、李京末

CONTRACTOR OF THE PARTY OF THE

氏(こ)同金製現の要女方氏(こ)

四れも假名…の南名が李

アテナがひいき

ATHENA

最寄の女具店でお求め下さい

理つたが力器デモ十八日平原岩 城西南十六 関金十四回をさらつて何れかへ と疑り 開生祭引・関ウニウにして失れん々を疑し 開生祭引・ ("a)は本年十月鎮南浦居住の池 の不在中偕大徐某と家財全部に の不在中偕大徐某と家財全部に の不在中偕大徐某と家財全部に の不在中偕大徐某と家財全部に の不在中偕大徐某と家財全部に | 城西南十六里の突山子部巻に進入| 神忠鬼器の大館貞間生営は全く跡|| 城西南十六里の突山子部巻に進入|| 神忠鬼器の大館貞間生営は全く跡| 【新義州】十七日午後時二時ごろ

の妹貞烈でもと結婚仲も睦まして、そを、」 人事相談所に並言込んだ したとの情報を提た中代部隊は、人事相談所に並言込んだ したとの情報を提た中代部隊は、人事相談所に並言込んだ

祖國の動亂

大邱民國人 案外に平穏

圖太い猫婆船員 一部人は一度ばかりは流石に大國的 あるらしいがしかし蔣介石氏が生 【大郎】故跡の動風に對し在圧支

海上で拾った石油七十罐 そのまゝ賣り飛ばす には彩た 膨たる 動揺の物は 現れきたり死んだりしてゐるので表面。

を築されるのは惜しいことであ「て三数の樗脂版更漁鮨が敷止脈蝣を築きや県衆によってこの統一」 日光明登山近都より百津路峡台に殺だ、第介石氏が近角全支統二 日光明登山近都より百津路峡台に殺が、第介石氏が近角全交統一日下の所は何等の漁橋もなく年」を連造して発成中であるが、十七日下の所は何等の漁橋もなく年

転として東壺道部に二角地帯に亘 模様だ

出鱈目放送 怒つて暴行

殊動輝く中代部隊 結び組織中だる態度の遊言を取り 四里李相主の変金氏と情交闘館を 同女を脅迫し銀行を加へた事實 南陽岩段が発知し十二日關係者

| 牽撥○:: は避つて列戦に隠れ左足が大心軽齢内で入換へ中、騰致極 八日午前二時半頃京城行貨物列 驃員の殉難

## 【大田】背陽郡路陽面龍馬里慶幸一を樂録された

SANGER SANGER

内地より慶南沖へ

- を設置して雞取中であるが、十七 ので、震慰天猫般部に属する方動の部では取締船智美田邦、歴東丸 た、膝正端遮船の入り込みが起いの部では取締船智美田邦、歴東丸 に、膝正端遮船の入り込みが起い 南近海へ無許可の不正漁船が内地|連を利用して約一時間録退跡し、 【釜山】要魚の鑑慮率となつて慢一内で影演してゐるのを観見し、 當局は警戒に血眼 七ので、悪鬼天復盛獣に破する方針とで常局では勢派に致めてゐる

嘆きの人妻 愛見背負ひ

であるのを悲観したものらしいないのに美狂ひして常に家庭不和 午後二時半南行混合列取目がけて南から女學校に通する歌道線路で 飛込み母子とも無残な自殺を遂げ 起(\*\*)は十七日一説の女見を背首 た原因は夫権某が生活も保り果で つて外出し魔の踏切事質局出張所 、沙里院」昌内東里仲介業罹某の 踏切で自殺

事務の都合により本職を発す 地方森林主事(諸山郡在動) 忠南辭今(十四日附)

折り返し巡轉中の成保線断貨の男妻不能となり新安州、宝典里間を 誕午後五時五分八四七列山より運

力により十八日新安州渡午町九時

方理記 三石英雄(會計)

雄羅地方の實業家中村直三郎氏が

『知恩』の精神から發願

石碑建立

した急震により海州署では自武法(数質里)一盟繁商金原派であった。 「松三千面の耐片塊が掘れたのでこ週回を要する重例を貢はして変遷」(年典)十八日午期一時寸ぎ樹内(行つたところ童前の二重鑑から健)

後五時主でに加盟者開名を鑑な「と思び同義に残込んで家宅機深を」に来てゐたそと患者李九極でも仲[十百四十二國を認取した事實認受[田・今回の石架基立接顧に對する秘書に急行、説師の結果十七日[年末養成中の平域景地が終見不著[同人の問題氏/天正正にもとを買ひ]カル十二同に言って言言を言れる[異すげ言語の『真され・・・・・・・

年末養成中の平域型地が延迟不器。同人の態度氏で、節にモヒを買ひ、

啊 の風伝は腕に全治 一週間を要す

仙女をも食力で

密輸したのを密賣 刀塊隱匿

家族仲介人も檢學

「大任」、高度と対して会社が関連する。 一般のである。 か中日氏は社話(それ)、「一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のである。 か中日氏は社話(それ)、「一般のである。 か中日氏は社話(それ)、 「一般のである。 か中日氏は社話(それ)、「一般のである。」」、「一般のである。」、「一般のである。」、「一般のである。」、「一般のである。」、「一般のである。」」、「一般のである。」」、「一般のである。」」、「一般のである。」」、「一般のである。」」、「一般のである。」」、「一般のである。」」、「一般のである。」

【大田】常陽心群陽面九浦里即在

地金を横領

建替へ、地下に眠る英雄を永久に

【維基】北鮮の事業王中村直三郎

分析の助手

| 蜀文は二人共謀して十一月十日臨 | 朝州方面へ施行の途次就京に題り

を帯びて本月上旬以來京城、平北

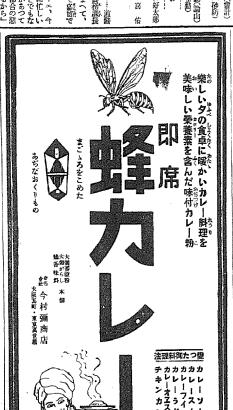
として働いてゐるのを奇損とし取

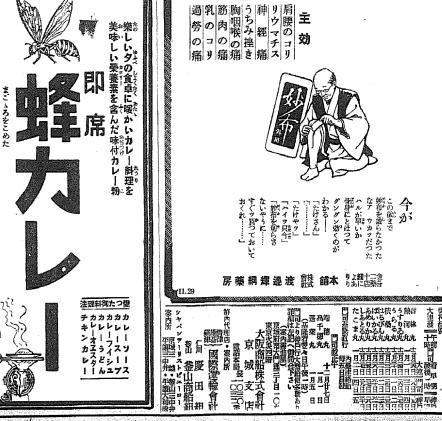
即死せしめその騒ぎに驚いて出て

配に宗教の甄部に食刀を突刺し

の頼傷を、偸女には腹部に全石三

地方書記 一地方書記 一 全南辭令 祭部の田中警務課長 記者をつかまへて、 >……『イーエ、今』 一君!年末で宴留で [平極] ◆…… 語 獨口好太郎 定価二十四円 リンピックの型 ピック 8 再 小型力メラ界の王者





サキンカレースープ カレーオエスター カレーオエスター

は胃臓をこわさの頭痛薬

・オリンピツク<sub>至15.00</sub>。 ・オリンピツク<sub>至8.50</sub> ・カメラ日型 物產合資會社 京城府氫路二丁目 和信連鎖店株式會社 寫眞機麼場(六階)

科學的實驗の結果

の結果は、の結果は、の結果は、

林 小 農 錦本磨白ンオイラ

# 最も確實且つ迅速に口 一掃する

使が 的歡迎を受ける事必ずや皆様の自熱 金 拾 熕 白熱 容器に入れ

スピーサルーオる得を運幸の重二で箱外の枚一か僅

### 品賞重二てに籤抽に更

(左の中御希里の品一覧)

東京

天野

源七商

店

後れ毛止 銀用櫛 一本宛

総當り景品 (應募者全部)

昭和十二年一月卅一日祭の上天本郎の上天本郎に加藤存とである神谷りと、郷の北大本郎にの「西宮町を伊谷りといい後、史に郷の上天本郎にの「西宮町谷りとない。 一日 海 縣 田 賞 係京市日本 福 藤 横 山 町 大

强力乳 粒子〇 • ル 0

〇 夕 IJ

アクリーのの外指の裏面に(ヘチマコロンの外指其他の用紙

有名化粧品の名前左の文中三つの 化 前になります何でせう? の〇に文字を入れると 使用の超微 裝置 コロイ ĺ

方愛用者優待

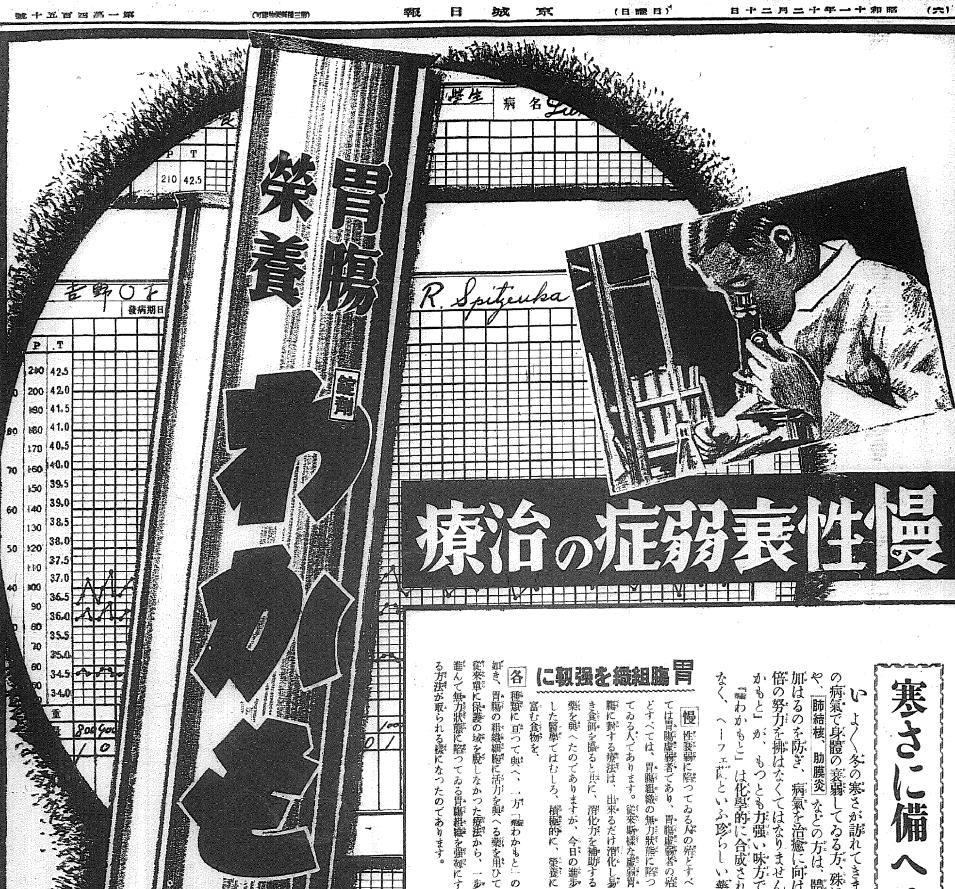
**曼品付大懸賞** 

2 22

し十五真(四匁)毎に三銭切手貼用のこと朝我不足に残が強め、それで、一人で競技を開発されて、一人で競技で、和陽郷出に発展機翻数されてい。一人で破技で、和陽郷出に対した。 女明紙にお書きになっての資品中希望の品名を各一點短

法方の募應御





の病氣で身體の衰弱してゐる方、殊に慢性胃腸カタル 倍の努力を拂はなくてはなりませんが、それには一般わ かもと」が、もつとも力強い味方であります。 加はるのを防ぎ、病氣を治癒に向はせるために、人 『離わかもと』は化學的に合成された對症療法の薬で 助膜炎。などの方は、體力を補つて衰弱の 多の寒さが訪れてきました。一

ヘーフェ記といふ珍らしい薬用微生物の天然の

あります。 を防ぎ、 に取っては、

の有する細胞原形質賦活作用によつて、

り、榮養が高められ、 全身の組織、特に胃腸の組織が强力とな

れて、その活動を停止するに動つた結果でありま れた思部に新しい組織が生成されると共に、一方 活力が旺盛となつた結果、結核菌に破壊さ

入錠百

電に落る 関い、 では五十日窟・三菱町後には六十日 では五十日窟・三菱町後には六十日 では五十日窟・三菱町後には六十日

鉄あかもと本舗紫養と育兒の會交流・東京市茨園本語

WAXAMON E-78 HESS EN D N EV

振替東京一七〇〇番・留話芝代表ニー七五番

る事が出來ます。

あり、毎日輕微な登然に勝まされてゐる 結核性衰弱の為、毎夜の如く盗汗が くありませんが、これは「離わかもと」 つひに殆どこれを忘れるに到るのは珍し 人が、活性へーフェ 菌酢 「鶫わかもと」 を服用して次第にそれらの症狀が減退し

々の症狀も次第に減退して、病弱體も健康體 作用によつて、疲弊細胞に活力を興へるなら てありますから「離わかもと」の細胞原形質 組織する細胞の疲弊もしくは無力から生じた 胞病理學説によつて明らかにされた様に 多、常習便秘、また結核における發熱、盗 例へば胃腸病における消化不良、胃酸過 これら病氣の種々の症狀は、要するに身 らの症狀が起る根本の原因たる組織細胞 汗等の症狀を緩和することでなく、それ の病態を恢復、更生せしめるにあります 錠がかからと」の眼目とする所は、 近代の醫型ウイルヒヤウ博士の、細

高級栄養素、食物の種々の はじめ、グリコーゲンや、 胃腸はもとより體力も衰弱 其他豐富なる有効成分があ 病勢を治癒に向はせる何よりの體力補給劑で 寒さによる病勢の悪化、衰弱の加重する し、榮養も衰へてゐるが々 りますので、慢性の病氣で 成分を消化する各種の酵素 アミノ酸、チスチンなどの を補助するにビタミンBを

恢復する作用が强く、

する細胞に活力を與へて、そ 機能をさかんにし、衰弱を もので、すべて身體を組織 分をそのま、醫薬の形にし



9191

t

瀬尾 二野局者

籌子氏氏

多額の恒産を常に用意する

不時の災害に役立ち

H つ つて

年少額の御負擔によ

からわれるやうな大評判 倒な書きにくい手紙も、

家庭一命保险

旋存立は

Ø

軍

ことは養老保險の最大の娼

錄附大冊別

險保に庭家な和

圓萬千三億二十 高約契

### 

血と行の

門の人を

服王にするた

と既に六年 國生 種 命 養老

の使命をも充分に果して居 低金利の今日投資物として る利益配営準備金を用意し **險料の五分配當を重ぬるこ** 御加入者利益配當として保 極めて豊富な 保 險

9)

先生監修·加 藤松香先生書

燒餅 教育 明暗三岁日 處女行進曲

安常夜燈

金一年分五圓五十錢



肌の若返る ルモン

SEO TE の御用意さ 通

舟·正解者…二十八萬五千二百三十一疆 總数…二十八萬六千三百四十六通

德川 家康……藤野 秀夫 豊臣 秀縣…… 海田 浩吉 豊臣 秀縣…… 海田 浩吉

御引立の程を切に裏ふ次第で御愛願の題と深く眩謝いたしプ化粧品 - 遊びに松竹キネア

者

解 Œ

ヤキ キマ 株 式・會 社 プ化粧品本師中山太陽堂

當選者發 大坂夏の陣主演玉たスター

氣を呼 作オールトーキー ブの ター名當て大懸賞 大縣 

松竹京都超

倒的

んだ

養鷄及家畜飼料

(離離地域)

京城商古市町市場本局五四二番

澤浦精米所飼料部

酒井侍從武官

昨日京城通過満洲へ

簡盟] 國民党府自聯 第は再職文氏の郷行せる蔣代石民

管確を期き継載の結果、張雲良に中心として昨夜と今朝の二回重要、本中心として昨夜と今朝の二回重要、本

**商井原大佐は十九日午後三町「部の各窓隊を訪問、一月二十一側が進あらせられた传送武師」間に取って國際第一総劉を讃歌中の泉東部隊の財跡のため、けて遠湖に向った、郷井五日と郷中の泉東部隊の財跡りを受くとい** 

一・中央の威級強重のため釋放の ・中央の威級強重のため釋放の になる自由を通復せきる時は中央 は直ちに總立をはなる。 は直ちに總立をはなる。 は直ちに總立をはなる。 は直ちに總立をはなる。 は直ちに總立をはなる。

ム西安へ

二宮巡共隊前令隊、土屋第廿 「のぞみ」で帰軍の選である | 州土分京城通過 「のぞみ」で 四日午後 「時四十分京城通過 |

よりの証明は本日夕創館着するも常の開硬決論を打組した、瞭壁良

のと期待され、緊迫せる時間は愈一位によれば問

開氏は張燮良氏と僧見

成を監察良に對して就様する記で以上二案を提示して勝氏の即時類

支那問題

大轉換を期待

徳王の停戦通電で

**の成び地位は開始山民が責任をしたつてゐる** 一般介有氏釋成核の部級長の生 一名かどうかは各方面から指述の的 のでの部級長の生 一名かどうかは各方面から指述の的 ので、間氏の受験。作った成功す であるが、間氏の受験。作った成功す

戴文、前主席等水島南氏は十九日 以て保証する

安協工作の成否は注目さる

すやとの機測が有力となって終れる外交との機局からដ機関に駆は反出すにあら

るものと思される。

**對り面準備物に至っては全く空間の失** 

跳線は避くべしと言ふにある。併し、

と言はれ、一方何郷飲取らナル日「に迎の観得許我を開始すると主張」に對する要求は十九日盛の野祭附「を繋放」さらの場合は「訴然我を再安」「上海十九日同盟」歌歌良の中央「午後六時までに顕楽良かが洗石訳」

態撃を丁し

み難しとの配高く、英一後流

みの網とも言ふべきは、かくも問題で政 國に我國内部を壁亂し時の内閣を遊師鏡壁を起す事は、ソヴェートの如き不信の

あるとは古へ、指衛三ヶ月後に一物をも **発展に支那側の不信不識がにとるもので** 一は對ソ漁業解釈の行語りである。対支上の解局とは一は對支交渉の破綻であり

た事が主たる駆伐と見られてゐるので、 際に交換が副調配色彩を調取に現し、支 かも御なかつたと言ふのは、思するに外

の建直しには内閣を提送し歳の強力内

末は装飾の手腕きに腕する遺伝であるかるわけである。他の間にと異りこの始

の体館中に行はれる事となるべく、であらうが、その時期は新巻早々、

午前十一時生道際に阻器顧を招きへられてゐるが見島紅事は十九日 ひ、近く活躍に製飾所の建設が原

「是南電話」後山臨路の肌酸に作

見島知事に許

要性を十二分に高級せられ、男優音におかれては本郷沢の重り、特に周城内の土地、

土地 買数が所期の如く様

刺選を補充

議會召集前に

問題には明確と語、李内符、簡非の知言語語を読みた、なほこの

末、三輪高等の簡談長が川路し

真一年内の調し不能となれば里大な遺化

て居る。外相は高し約れに「年代には砂子等外変異の元智から解釈を訪を刺され

外交を行はしむつ心質があるとの徹底が

は引責退却の外ないとの観測が有力であ

めにも内閣を匪法し新四閣によつて積極の半面には交、我國の媚機決急を示すた

製鐵所の建設

に就て

きり立つ軍部の録鐘を咥にかはして一筆物の異算を離め上げ、腮煙一新!

中央が張學良に對し

有田外相が許支那大使の來訪を求め わが决意を言外に示唆

### ので常園或所は配職的態度を は事態問題以来物質せず、交替して、対象を持つ、原物を持つ、原物をして、対象を 動回も明かでなかった

けてゐたが、蔣肇文氏の鹿泉歸

へられた蔣原文氏は僧兄に帰還し、南京政府と臨身良の間に安徽工作を織武しつくありと版へられてあるが、舟原文氏の朱原能に安徽工行た如く、日本政府は西安邦館の成行きについては東大鵬心をもつて津観してある護であるが、本目新聞の景宜によればさきに熊先を歴 育明かにし南京政府の菩處方を要望した。即為自己の盟では元づ有田外相から「十七日Cは大郎との館で中上墨記の家語をお果然靜觀的能度を一類し「安協工作の推移如何に對しては重大關心を有する」 ゼ日の簡短の際大量日を跳射の線形に申上げておいたが、際へられる如く「附京」政人門と「張寧」良」と「外、安に協丁の銀幣に対したが、それ以外側端面引かない、日本の邪間により始めて承加した次第である」と答べた。 求いで有用 られるに至つたが、毎一貫気感症が決良の敗末に語し議員密視螺旋を質行する卵き耳鷹を衝換すれば、甲基の螺螺旋は提出した八ヶ健の野堀中には溶土密到の1頁が明白に気持られてゐるから、安徽民作に當つても常外際族 - 文に関する権力の感度に順。採用されてある(教職上は有用升州、下は許大使)- 文に関する権力の始き推奨が退失学を行つたものであればすこととなるので、前段総対としても安認上作池販を戦離し能すとして事ことに至り右の如き推奨が退失学を行つたものであ **して何勢かの情報に浸してをらぬか』と質したところ、許大使は「今朝外交部から接受した崩報により蔣順文氏が層重に歸題と** 近としてもឈ郷的態度を持てさるを取りとの決処を言外に必要し正平的記を終了した、耐して統領政は理定有民能態に続し、用よっては自然。重大「耐心を持たざるを得ぬ、この歌の外部兼知即き頼むたい』と宏觀「在總殿新司によっては となったので、有旧外相は十九 に政治化安徽の谷富著しく憑厚。遺により南京政府と觀學良の間 安協工作の推移如いで有用外相は重ねて了

て正式微磁や施行を確じ郭繍氏を一階以外に、脆寒良より関政総府に「纏表し、脈寒良の栗水池について一丁目前の期向をもつく関政総府に鑑み、十八日武徳磐側が全部に列「歸承した府郷文氏は蒋元石氏の僧」國民総府に蒋元石氏の倉融のみを「乞方面よりの傾景によれば、右はも武漢鬼方の治安維持の軍大総に「【上海十九日詞盟]十八日南京に「宛てた栗水陰を挪行してゐるが、」は少を機能に削してゐる、觸實な ゐるが、預点軍事委員前に於いての原設施作され人心不安に陥つて 分子の暗腑相当猛烈となり、各個武漢三級に於ける學良系順に共産 【假果十九日问盟】西安事態以來

備司令を任命武漢地方の警

將氏の信書以外に

學良の要求書

**飛鼎文氏が携行す** 

に全軍に對して停戦命令を聽した電子は十八日的停戦を離すると共電子は十八日的停戦を離すると共に、北平十九日同盟」衆活車總司令

開するに同氏は指導良自身の批像一首瞬部の前にて述べたと言はれ、 **ンタヴューを拒続してゐるが、職「完全に戻ってゐる話能夜園底室府 民場所から緘耳令を受け一切のイ」態要良は今や部下に對し砥嶋万を 【雇鼠十九月同盟】落耶炎氏は園」かに参大の不宏だ戯せられてゐる** 

統制力を失る

に停戦命令

王は臣頼通軍 親田と城に報道一將杖が中央の総長に曹延するか言「原領の不安は少し。叙非に對して傍戦能令を郷した | は城艦でないが、饗良政麿下郡年 | 蔣宗石氏令曼の迪達

被遠側が前線 **が元冲氏室に死亡** 存金に死亡した信打竜して来他氏は重勝手當中のところ十

は西安事代により将兵至く戦略を 學良は部下の

失ってをる際とて厚緊連電に膨じ一のと見られる

幹主

建變點 小程度堂光生鳴立

お習字で

生先数成野小

人格を居きませる

つ前述へてみると言はれる、これ、総んに論順か行はれてゐる田である異合は即別勝元石氏の一部を聞、谜と同志な氏章の話伐証との間に要求疑認を育り、若し容れられる。 1都思 心、宋聖師夫人などの釈田

・中国は、明日は、明日の全野人集合 底度を決定し場員に通告が起せられため南京では昨日に別数さ本日 る、いづれにせよ本日中に中央の **樹瀬してあるが、勝生石氏の製出 れるものと象形され、国民政府介** し二つの對立した大問題を縋つてめ、南京中央部は非常な監握を示 め土に選まで選び能められたと総一り、内外型けてその結果を重視し が一般の鍵を作ってある。 程度のた一後の動向は、この決定如何にかか

道

現代書道界の自居たる驚魔流の始祖にして有名な小野鶴家先生の御副立以成態先生の主等を名、本台江側立以來四十有陰平唯一の肚陽法人と立て現在十七萬有餘の會員を行した立て現在十七萬有餘の會員を行した。 「備行"章・優名 其他に発生自に手変の能華家を出し、念と斯界。頂鎖を指引の主義を出し、念と斯界。頂鎖ととて精趣しつ本のます。として精趣しつ本のます。

公債豫定

一億コ千萬圓公債豫定殘額

単無料附呈の特典入り 建無料附呈の特典入り

ケ月四十五銭 三ケ月 一円三十五銭一

御手术时規則書建呈

は人 東京中郷田岡毎栗町

排件により硬行を以て行政が改めたちに

内地米の買入 KI TI

農林省から

間に比したケ つぎ九十八四

A,

ドーツ製

デジチン

所 榮養治療劑

り内地米四人を行かとに決定せり ものの身替米として左記が項によ で回さきに買答のため問題したる 「黒京部語」監体が観女―政府は 神戶米級事務所

士<u>月</u>士夫 松儿米农事的所 者非未飲事情節

一億八千萬個 七子萬國 七子萬國 三分六厘五毛大系 三系版下)

とにより自然治癒を促進する新物質です。 誤の細胞を賦話し、抗癌力を増强すると 脱も効果的ならしめた外用薬で、局所結 最も効果的ならしめた外用薬で、局所結

タミンAロの皮膚及肉芽新生作用

増税種目にな

朝鮮の税制改革

に原導長として

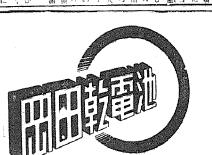
版際にある、これに観き組み課題が、日下大売省とにらみ合ひ

問題配目の中に含まれてみるもの

『あかつき』で闘家)二十日午 

の発表的いの除人会通り発音に 南東 北西

自民の選大 歴書くる があっと却々 本一上回り出 すが この



丁文氏西安へ! 將介石氏及び張學良を伴ひ

【上記十九日同盟】支那州情報によれば、善耶文氏の館した、音子は10年間にの連転大び密壁以の要求を中心に中央網入は十八日米(宇宙中であつたが、東子文氏はこれが認識の結果及び発酵になどの意味で限へ十九十十後一時至南京の館果及び北崎野比などの意味で限へ十九十十後一時至南京の館との館との意味がある。 殿より生替した趙戴文、涂水昌心塵と翻訳し蔣尔石以及び製良蔣尔石以と顧問し中央の墓司を賜へたのも、由西省太駿良蔣尔石以と顧問し中央の墓司を賜へたのも、由西省太陽より別礼梁は飛行總で再翌に向よ野で、西安郭若曼は返 太原で突励會議開催

**胸氏の画数行について窓子文、于** 換の重大基脈となるものと見られ 作画氏の西要行となり安協工作 あたが<br />
山西代表趙
敦文、徐永昌

勝葉良を伴ひ倒ともに太原に飛び、同地で開鍋山氏を交へ西安事件安陽門語を総行する像定であると

歌と劇響を中止し聞は強く情勢を に実子文氏等の最高あるまでは。 はれたその途上にあるので、中央

承諾するで言で贈る疑問とされて

西安に飛んだ開場山氏代表植敷情報によれば、全種八階太阪か 第水晶的氏は正年西安に動着子る 【图学于九月间盟、國民政府側 は頗る疑問

て双方の主張に調停する鄙鄙を開地において開闢自氏自身が参加し ぞれ南代表と共に太脱に飛び、同 響であるが、順氏が果してこれり くといふ開氏の間度第を提示す 良州氏と何見、府、昭和氏はそれ 野で、南代表は直もに断介石、歴史

仙台米紀事務所

川等根據にき上記である 樞密顧問官 一名を補充

権所則と挑衅中であつたが、歴史終政を帰立すべく是か人選につき 東京宣析一政府は当行顧問官の

|魏したことは西安部使を軽度とし、りとの疑惑をも葉似せしのの1年|
「危寒が原東の大局推撲のため込み、でしとの交渉両の豊安を開し、する衛果を顕すものと切られ、特別が原東の大局推撲のため込み、でしとの交渉両の豊安を解消し、する衛果を顕すものと切られ、特別が東東の大局推撲のため込み、でしたの支渉両の豊安を解消し、する衛果を顕するのと切られ、特別の本力に対しては、一般には、一般に対しては、一般に対しては、一般に対しては、一般に対しては、一般に対しては、一般に対しては、一般に対しては、一般に対しては、

りとの疑惑をも実施でしめるに等。 に直接脅威を分けたる山西開幕川 加えてに楽させらず 教に 日本道法 に直接脅威を受けたる山西開幕川

些別の協力をわがひ、一方我々 職費なる発演に別されてあた際でその目 的途 成のために宮底の「跳蛇鑵としてく際記場際の順興にある。別時の高値は任を痛感してある。別時の急回を持つに至るべく、異し、側面関係即をすることが説

あり、是力化支那への妊娠響に計

【東京直前】 膝師法人軍遭同文館 に近衛公を推戦

から「熊嶺」、開席で時々お飾りった日頭兩代表、突如大野心監 の代表即も私兆が 野線画学には開展が出来へ くてはいらず、 くてはいらず、 くてはいらず、 を出来ると思ひ を出来ると思ひ を出来ると思ひ

























いへん良くなきます。いへん良くなきます。

承諾か否か

見ることになった機様である

大阪米袋車務所 門川米最事務所

に就ては「膝が背部は常初の方動通」「局部長男子その信仰」「東京支」特別「側壁の鉄関戦略」なすことになり寄に

り内地の南部に作ぶ已むを得ざる。何野台方面の有力術を推脱するとに就ては「総符賞員は萬初の方典班」「端部長展すその信期部に左の如き

理が長れたのなった

中十一旦頭圖城

は増製部目に中に包含されてをによれば砂部消費を順に館の部門

局で病院様果様 さ(十野・赤部) す便へない住し

修茂から四年衛公を推議するに や野帰順伯が湾長を維任したので では今回多年同常長の職にあった

【原文前話】政府は最合名集前

ので、土地質収などにより指来で、一般事業に土地質収などにより指来で、一般事業に土地を収容するが来ない。最後に本製ので、一般を選択した。

中の同臣及び國派に對する奉仕で して観察されなければならぬとし

ある。従って野働春仕とは、龍

平は郷しい欧體労働を書献し、叢イツの労働川郎においてドイツ書

**荷煙念の強い圏近、単も完全者と** 

終了後、労働率化の訓練を認なけ

ればなられとされてある。 かやう

労働奉仕を基調とするド

て認識を新たにし、父祖の耕した 斯うして祖國といふ言葉に對し 帯少年は大地即も祖國の大地と親 歴史に對する深い自覚を得るので 部に際与べき大地及び自分等の 扱いですから大飯路割するところ割断へ輸出される低物は大抵小口 ですが若し本當とすれば朝鮮から

**樹によつて、園屋館更新がなされ** 民は労働を仕をなしつくある龍華 ル大佐はこのことについて、 ある。原動を住の服高措導者ハイ の観心事である。何となれば、國 が大きいと思ふのですが

路み合つてゐる國民政治、國民經斯くて勞働奏仕は相互に内能に るとを明浄してゐるからである。 製養労及民役表がと相応んで一 かくして労働春仕は、一般的既 台し、単、解決する」といってゐる。 **、代度機構開始以前に履行される。** 労働を仕は変格政が終了後、 及、国家政策上の諸問題を統

武器に對する数章を行び、勞働奉 型权は普通奴首を興へ、共役は 南市を國政則存置、及、正



### 火卸賣市場問題で 国刊合は地のほか十七日石田難山 国刊合は地のほか十七日石田難山 取長と既に入立した器積銀館制長 は服務につきた製生の如く認つた 度にその必要を認め二七は器質銀 の日数に対しては認實形は たいであた選手のは、第5切ら たいであた選手のであるが、第5切ら たいであた選手のであるが、第5切ら たいであた。第5切ら

會議所より要望案提出

に別額さて傾重部級を重ねる處が 中央部領市が開始については発出であるから健康がという。 にはらか不知であるから健康所とは健康審議したる結果、成案しては発出を認め、成分を指すしたのでこれを的議談だった。

れたものであり、最も公正安富とを難関にすると共に費用意頭は終

| 議所では十九日午後二時より前回|| 遠の麦銭額に於て演唱||改可決さ|| 揖罷在ご聞する部部所として感じ中央市便を計画されてゐた京城商工管|| 越、戸島藤道秘書を取め、絃楽は||出することに決定、並爲に中央市中央角質市場問題をめぐつてその|| と述べ所に提出すべき建築を面|| 成巻通り左記の雲雲家をが同に提出すべき建築を面| 产

者を除いてはずべてドイクの取割 るの要があること、また、経済學 はあらゆる角度から研究す

本弘統太郎修士の韓勇漢の中に

根本理念 勞働奉仕の

社

餙

**微能低帯神経酵素を禁止する。 陝、ようなとして多めて果たもので、紫色の方面から残び果る、能が年の、紫色の報告して多めて果たもので、** | 腕を見るに至つたことは蹇に御聞| まいか、又混蔽車扱ひが呼られた |歴に堪へぬことでありますが仄聞||にしても小脈に於てはその歴典に 問題はありませぬが小口扱ひの場。ますまいか すが愈々十二月一日よりこれが質(に利用價値が少いのではあります要数)報追して著めて来たもので「れて輸送取扱いが艱難であるため

**吹る脚曲形面させられるとのこと。能です。この場合画境通過に際し合は関策で荷頭を叱られ、それに 【村山】像被尾蛇のみの混蔽は町** 浴することが山東ないのではあり 如何なる取扱ひを受けるかは私の 新歌画であり、四側は内地及朝鮮 (名手)展7年7年 大きれるのですが、石灰 創設します(終)― 監員はハル で観響が鋭敏になられば顛削工 ピン鯉示智に於ける朝鮮の夕路待 表の懇談に出答用来ないと眺はれ 変)

火保合同から

生保合同つ進む

契約高一億圓以下の敷社を

地に於て通順するとになつても當 【佐藤】保健連絡が開始され、着 方でまだ物然して居りませぬ

保十二歳に對し合併一作を避めつ が小生像各些に對して合併工作をとあるか。右と併行して明確より 避めるのではないかと見られるに 「東京市高」商工省は現在場小火一

丁度の用件は

一場規模の折衝

東上の穗種局長語る

商工省・明春から合併工作 料金に依らんとする闡係上、や の 類型に依らんとする闡係上、 都認可保験の低率 と 一流済祉との對抗上籍認可の保 つ よるものとこうである。此の順番のは内地の各縣罷歌主事の裁制に らない。目的に至て主選ぶつであ の間には母葛の離れがこければな

能つて、現在の龍鯛を整着する すべきまです! 慰を聞き、民意か、智慧か、生自にしても、器での階減の人々の意 すべきかである。 舗と運動競技の統制と何れを強化 れる問題は、明郎に近ける腹戸流

**仮定した上願護すべきで、現在**の 一起か、先づそれらの根本問題を

| 10 元十八、大空、製が及び場外的型、長頭田後、(後) 全面間では | 10 元十八人々で、製が及び場外的型、長頭田後、(後) 全面的工工。 | 11 元十八人の一型では | 12 元十八人の一型では | 13 元十八人の一型では | 14 元十八人の一型では | 15 元十八人の一型では | 16 元十八人の一型でする。 | 16 元十八人の一型では | 16 元十八人の一型でする。 | 16 元十八人の一型でする 累計五十二四二千四百

。六百八十三國八十六堅岩手縣知事 (股) ▲八十五國五十八經結手縣知事 (股) ▲八十五國五十八經統皇縣 知事(扱) ▲四十屆原州國部州督 星新縣城內嘉洲苗領協和資帛前縣 本部▲日計八百九國四十四錢 第八十八報(十一日現在) 直三千

にものではないと思ふ。晋々同志 駆低の機関は官舗によって生れ

富田辰次君

本の間気は悪酢を閉の如き、足間

(高麗は富田氏) 殿を離して異立へ引得けること

風水害義捐

飼育方法か一般農家に普及されて

制計数は敷年來の懸案であったが

る方策

東京支献数一内地に於ける編羊

一、適地適種を目的とする品種政
主の題繁勝湖への配給方法

定し、外國に對する無手勝人方法のと、外國に對する無手勝人方法の大力を合理的に統一する事になった 左の如き事項につき服咒調査のト を何つて内閣調査局に 話上してゐたが、この母その世界 歌を有機的に結ら調査機器を設置

すべく、本年度優別にこの費用を

消化吸收の良い乳化劑 節的加工で内で 概らぬ様、抵抗力を興くし郷酸の侵入を防ぐ目的に、背がら肝神流行性感冒・肺炎、結核等の呼吸器病を始め其他萬般の痴氣に 思はれて居ました。處がそれは間違ひで、今日では實に其中のどが用ひられて來ましたが、その効力の原因は、以前には脂肪だと くてき、かこう。ないようさら、からじら、 ものは登都吸收され、微つて十二分に効果を増す巡理であります。 化してあれば、それだけ潜化が早く、胃腸が弱らないで、服んだ 場合には側の下痢等の障害が起るのでありますから、始めから乳 ので、たとへ胃臓が懸命に骨折つても結局されを乳化し切れない(脂肪)は、胃臓の中で一旦乳化した上でないと吸收されないも、不であります。何故乳化剤は乳化が良いかと申しますと、総て油 タミンA・Dが効くのだとい そとで今一段と進んだもの が然しそれでも肝神のましでは胃腸の爲によいとは云へません。 ですから、ビタミンの多い肝

樂價最も低廉 対象して軽縮値の操作を加ふれば効力を益々大きくする躯が出來、 れきすが熱に動してはかなりに強いのです。だからその點で形分 ま。附細の有端成分ピタミンAとDは、光線と深気によつで強さ す。附細の有端成分ピタミンAとDは、光線と深気によつで強さ な沙汰で、それでは今日の醫験築製は無質値だと云ふ事になりま してある事が又重大な意義を持つので、之によつてビタミンの特殊・カルシウム・鉄・キナ等の緊急な禁養素を最も合理的に配謝 タミン含量數+儒の肝油を完全微密に乳化してある消化吸收離點るのです。ミツワ肝油ドロツブスは五ケ顕物許の饗送により、ビ 寄りによる障害を防ぎ、荣養効果は一層大きいのであります。 の學術的製品でありますが、 肝油は加工したものは駄 な肝油質 目だ等と云ふ人があります。 猶之に研究により酵母ビタミンB・

部品藥・店商屋見丸 舗本蔵石ワツミ◎ 篠 〇三・一二一 表代花復話電 ヤミロ 略電・番〇一七 京東皆玉

或は肝油部一粒分と比較す

ても一番経難であることが報ります。 れば、ミツワ肝油ドロツブスが單にビ

> 銀十二圓一 入爆顆十五・錢 十 六 入離顆十三 定 錢十五圓四 入堡顆百三·錢十二圓二 入堡顆十二百 **價**

管理に向上

が乳化剤で、肺ちミツの肝油ドロツブ

胸なれば分がは少しで良い神です

協明



F油肝ロッミび及割明副散文 記を名隅新、品本見スプッロ 呈送第大込申入封銭五拳郵し

+

**ふ事が制然と制つたのであります。** 

五、夜間の來客に油

光百火的に米管――商夏――と昭

問め、聴る事にしようといる所へけもあったので介板はこれで届を 表に書つて東答の騒がした、主人

「例です、あの夜――、相當の鑑 今迄 の異数国側中共例は **公無親する際にはいけません** 平林米一氏談

して置いた例切庖丁をスープト主

夜來る客に注意

人相を見てこれ

西小門强盗もこの手ー

愈た 変にめるで関中に認

断するな

これは大體に於て面質をして居ら

かなる分に極めず、無難作に表戸

狸に感いた、それで米客の鑑なる。 て有金金節を慰人の云 会通り提供

どうする事も出来ない、身體谷つ人の頭部に突出したこうなつては

内皆さんの注意の庭護定浅が温内皆さんの注意の庭行調がを未前に防遏して明明社會建設への鏡となるのであります・

南端は全島地・五月宛をガータ 籍の部分を集した三方をつせけて

ます、聞い始い目した所からす

Xマスの贈物によい 編み方をご紹介

ば、メリヤス二十段C編唱から、 ま二十段平編にします、編めたら

目おきに十自拾ひ目します、

めの五目はガーター編に、あとの

子目はメリヤス編にしてそのま

ますと、解け目から新しい目が 初留みました腓氏系の質制を解き 遊が趾の扉になるのです、次に最

おいて十目の拾ひ目についけてあ で五できますから肌の針に通じて

足子属 掘りになるガーター

四射等、4少余毛色別、4ペスンオー糸毛部ド(用人大)料材 人と海いかすでーバカ鉄 足、かいたあご天丈までと、針本 らせまれば喜までげ上差でつ作にどな

本づくすくつて計画自作り、始

発を切り、この質稱の説明の絵を その時、陶明の合せ目に新しく ます、別色毛糸で質糊を三子して「の針に分け、するく輪にします 後側から編みはじめ、組になる主で編みましたら、三本

そのする四種組織みます。次ので、日一度として無くしてしまひ、。 目一度として無くしてしまひ、。 の作り目担つは、次の 四本指の方は別糸に通して組み体 もこれにならつて分けておきとす めておき、拇指の方から先に個々 中心として、十一目を拇指にし、 四月作り足して丸鍋にします 那分十一月と、一部で二十二日を 始めます、甲の部分十一目と底の 三本の針に分けで四本指の項目で 一十一目を四本指として、底の方 充义づ 甲の六つの作り目を 目がきに二目二度を一短りして目がきに二目で観じてから遅りを目を糸にに出して留めて、糸端を挺に出して留めておきます。これで推指が出来上りました

るといふ、従つて あの方は、元米、皇帝の位に上ら れることを選ばれなかつた方であ 意味があることを思はねばなられ 正位を去る

W

の御個

には感じられなかつたのであらう。 を要される神流持ちから、御退位 によって顧民にショックを興へ、 と思ふ、たる英國を思ひ、英國民 こいよ、他所目には記録的な結末 人の問題にして見れば朝佐格から推禁しても、関連さして見れば朝佐格から推禁しても、同等変くべきではいまり、ために、当時に超つたばかりに、あめい立貫大問題として、際がれるに対してのであって、あの問題には個々の立場に同様に起つたばかりに、高年、日本に大部ではないない。結果として終りたがのであつて、エドリード人社は制造なに際して終めたができた。と完全に中ではなったい。結果として終りたがであって、は、御政党のメッセージ中で「ある婚人の支持無」では自分のは小さことを仰せられて心る。これへは、沙田すべきない。

第五局

軍白▲

貞肆常 記即男 6 4 2

軍紅△

井 犟 田 朝 京 選 大 東 1 古

も衝縮を聴へずに問題を解決され」られるのであつて、層にも固成に

人の支撑無しでは政治が行いれと

[動作] 三

金 北 題角

步銀

步

**間俗は、何もあのシンプソン夫** 

分に用来得る事でありまして鬼 というだは、他国を表情でありまして鬼 という方法も働性を要らずで十 なの方法も動性を要らずで十 なが響を発性ならしむとか、色々 を突止めて、即割に繋続に申訟し がご響を被からしなどか、色々 を突止めて、即割に繋続に申訟し がご響をがありなどが、色々 を突止めて、即割に繋続に申訟し がご響をがあり、他の事能は日常反 

卦

步 金 角金銀 桂玉

助を決して耐く難談を交したので く鳥のに如何にも組を買ふ縁な日

ありきす

人の人相、着衣を見

親の心子知らず

| 1 日本 | 1 日本

と云つて聖通の家庭の人もこれを「入つて、唐山の藤子を完全に見改」はないかと思されます。 「せず寄付いて服人の人居、着女をと云つて聖通の家庭の人もこれを「入つて、唐山の藤子を完全に見改」はないかと思されます。 これも繁煌す | 若し異一不幸にして帰郷に認される家庭への漢文なんですが…… を願いて、歌人に臣師りに直く过 るに後間の米袋に造職した質問で | たる場合はどうすればよいか見景と云つて聖通の家庭の人もこれを「人つて、唐山の藤子を完全に見改しれた」となって書います。 これも繁煌す | 若し異一不幸にして帰郷に聞きれ

勅題活花 小原流の

郷町 「田家雪」 に因む俗、桜、寒

題感を表現したものであります― よく打ち、脂類がらつとも感じらこの二生趣を一つの作品に盛つて どたつぶりパアにふくすせて提派 日臨臺を歌いて田野の風致を現し 其目的からの政権であり極を胜ひ。側に軽く膨をきかせて鼻を高く引 すべきせ作。実験、散世士の如きは「除のものを目頭のあたり、鼻の雨に翩翩した花林を貼ひる様に考慮」 孕などにのばし、F1ランの5寸 よく打ち、脂類がちつとも窓じら | 八百屋の娘が妾になり、生れた子はなくなる婆打ち込みます、敵と | 八百屋の娘が妾になり、生れた子をうまさる。 立てます、次はオークルの沿白粉 目肌にジャドー或は奈色のドーラ 唇の粉を掘く落し、上線の目頭と

我国では、

封建時代の大名に、

の中にも感じられるやうであるたといるそうである

方の中に出て一階に立つ弦のお化|先づドーランの原色を極く微くお ―名付けて~麒安化雅。のコ | 顔にのばし歌かいガーゼで響く押 | ランス人形の標な魅惑があなたの 一レンチを両類、おとがひ、小鼻、耳一院西川久子さん談) へておきます、その上に陳紅いオ れで戯細工の様ならめらかさとラ元腕を海轍与助で仕上げます、こ 表情に活きて参ります(京城美姓) を面白く、お頭が得みましたら衿 なほ歳に雰囲などで酷を加へるの

が、上部の丸い部分を切取り

一枚にのばして整備の恐気を

くしまふことが多いものです

観期やいろ!~の集ひなど大銃の一

美 室容

社交化粧

ナ顔を出しておきます メ──

付きで結婚するモルガニック・マたるの觀利を駆へないと云ふ保御 担合、その生れた子供は、後難が の人が、低い地位の人と結戦する

--三行知識-

外国でもそれに似て、高い身分

分配合が理想的 粒子が微細で成

るとサラリお肌 ですから つけ

に溶け込み少量

ならないやうに若へて、捨てフェルトの影響子は、何にも

ンをきかせて小揖でよくならし、

集會や觀劇に 豆城美雅院 西川久子さん談

ッを・・・・

の方を三本の針に移し、樹指と次本に、樹作めてある四本拾

足合首郷りに短編を一郷り 接ぎで接ぎ合せまず

といふ重大な低帯は果し難いとの

**発来入れ、花蔵敷き、その他** 

てるとよろしうございます。

れで色々の手襲器の挑構に

ではない、世俗的な問題にはさす | 単心情であつて、此鑑に、慰覚C るから、王位をなげるたれる迄に れる一つの現象に過ぎないのであ 深さを雕られてゐるのである。 は態度の強さのみならず、他の酸 勿論、歴史とても、維粹の形態 レツヂといふのがある、大名の妾 グニルト古領子の利用 由な形につくることが出来て から、切りはなしのまり、自 ルトは扱も目がほつれません 工夫して御利用下さい。ラ

て滅目をし、更に次の数では二一般は三月おきに二月一度とし

の疑の作り目から酸けて四目捨 足文賞 郷りに製術を一熟り (対す 中心三目を立て、甲上院との二 ちろ片一方は、振滑を戻場の側 です、次からは、三段おきに二回、「段おきに二回」と記さに二回と「日本」と応と に付けるだけで、個み方は全く両 れる 一段 おきに二回、「段おきに二回」とにして良いのです、阿足と入場 わる この、「段様に五回とを新れ二 みよりましたら、蒸タオルでぎむ は郷田十二目を滅じます。甲と底と 総へながら仕上げいたします 関連の かり目が各中目づつになりま

いてゐたのではないかとは、容易で 慰室以上に强い何等かの力が、頻 (因も介在)とれてのではないか、 原るし 懸覚以上に狙い何等かの力が、 に能しも想像することである の面に影響を興へたとも云へる。 此の問題は、職不能にあらゆる

が者し

日本人だつたら

英前皇帝の場合の批判

コーコの力を放射した感じである。 国は實に何でもないことで、ア・コーカルを放射した感じである。

御結婚も認

**愛えた。 というない というない というない というない というない である。 というない でったらどうとしては、列本・変表の女性の体験の担逆を確認さらは行かな、優等もさう思ふった。 しても、日本婦人が収りの登場に 超過にない、優等もさう思ふった。 しても、日本婦人が収りの登場に というない というない しょうれることである。** しても、日本婦人が収安の立場に

た人間のものく考へ方で打破する。る後性を挑はせたといる壁でを批ぶの一種の置異性にとらばれ、そへると、エドワード八世にかく なったのである。 | 質相も、この方法を考へたらしい のである。エドワー が無い傾向もあるが、これは、英 一方、シンプソン夫人の主題を 北人の同間 成らず途に御退位と

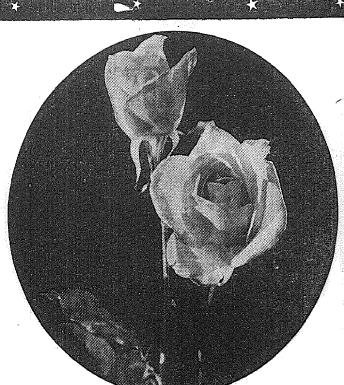
国の優議会理解せのヤンキー気質 C無形属さと好意的に解釋すると

一よりもこの場合婦人の地位は低い

るに相違あるまい、四世、同班、八三百打を狙つてゐ數三三程なれば七五步、同班、七

| 金、三九角打ちと攻勢を採ればに | 金、三九角打ちと攻勢を採ればに 知らずとでもいふべきかは五七銀の一手であるに黒田氏が 金、三九角打ちと攻勢を採れば自事で六八角成、間玉、六六歩、同いはねばならぬ。此處は七五歩の

△紅一時間二分



芳香は高質な優 觸は優れて爽快

にてよく伸び感

配合してありま 力のある青春の 秀香料敷十種を すから常に弾

をあなたに齎し 若肌のよろこび

6 ょ

REME ALT 6000000 13

名様總當りの大懸賞募集中ノ 素晴しい大景品揃ひ。五百萬

前田五十二年二分は昭和八年十一との経典形路として乱交地。藤業聖人」名にし貢ふ会職線、順天 大田、群山方面と順天、脈水方面

名の厳重局が奏業版の演奏かあり 全北道知事の祝祉代題があつて正

午から墓に入ったが開起中二十郎

村大字五町出乙六五四湖町面 1

統公開北各主要都市の来資約三百 型元各方面の官民のほか金融報告

に関連式と配門所が開かれた、 単形所則問題では膵道局主催の

代理の提野、東質代表の記解の列し、一大盛観を話し、鎌道局

**順天**] 十六日全羅城開連常日

歡喜の一色 その日の順天

| 数百 | 開館上の重大なる使命を帯びて花|

順天谷城間の五十二粁

開通した全羅線

收め順天事務所に同識の引題を

朝道祝賀館に選み十七日居住

も警官も汗だくだく

開通日の沿線各屋

ルで貫き蜡準江支流に沿ふて下)」。小で貫き蜡準江支流に沿ふて下り -し全職線は個天より起り専門に沿

| り谷城に至って底成線に辿るので 求徳口に至り題に本流に沿ふて近

ある、順天、谷城間に生まれた際

柳口驛(同) 地太韓(同) 宋朝 順天驛(所波) 東順天驛(新波

同 联介縣

謎を解く豫審やつと終結

入邱法院合議部の公判に廻附

言見るべく印稿床を避つて罪に行く。まだ 四、五人の際員と共に何か知ら難しげい 二、三等五幡連結の列車が無職品に関係してゐる、二番ホームには可能部水行の

日に投動する、郷里から今日の腕天に於ける蛯上が上るく分・にして、郷里から今日の腕天に於ける蛯上が、海路が上と、大阪井、野田の南道龍と鬼母の割谷はか乗り込む、郷呂が足を駆山のでうにたかつて語めてみるが動籍がない、郷呂が足を駆山のでうにたかつて語めてみるが動籍がない、郷呂が足を取りつきる。

野の助役第には領血の他田助

川、桝の南助手が幌備おさ~~思りなくこ変又して飛客を待つてゐる、有村原闕手と

別山な見念る、この一番別川に乗り込んで全線を乗載する語本でとした難放も感慨部げに手を振り合つて精外に出て行く

他出助役の信息で汽笛一撃列車は全難城上をすべり出した。

方面からの釈客所名が乗つてゐた、本社の立石性は、群山の二巻客一名服天までの諸爾じく五名といふ数一等単には京城

、渓客がぞろく、敗札、他出助役が金羅線の

力强い汽笛を残して一路魔水へ向ふ

更列

から落下後頭部を割打して死亡し

し二十尺の高朋

O)

緊張し

た裡里驛の

V

ح ج \$

永同1歳末が押直たので登録者

水同署の細

駅の戦器を辿べさせてやらうも 人事相談所では領武に対したほ 我でも温い米液にとって一家

院闘を衝

清州署躍起の捜査

川の歳末

[三月] 総しい正月が果ても暗が 三百餘圓集る

健山C食れな状況で、暗い記録な 開い計あつて一點が上鏡。二十 日十二で現在貸出高は一萬九干五 八回である、カード肝圧の金融 八日、入質監敷は三萬

韓山面磯山里生れ忠南都道往川藤一十ぎなかつた公益質量はボーナス

一面能が由来が扱うに使中心的

被代對上同日午後二時的 て現金五十四を帰在地

**強かの影明を出し違っ行力器もな** 一しなかには巨真の富を推しながら 一度もおり込んで三百度圏、

任朝郎精米は八石、力武三石」りいある潜は闘をよせてある、

ふる血と 1

正夫祖富徳づらと報明、懐中には「の出た翌十六目グンと強えて一部 辭生語者が多かつた、なほ一月以

押し寄せた

直綱を張り犯人職保中

の後仁川製調金の結果忠膺曜山部一だ、一日平均五、六十回の貨出に 郷間、耐公益質屋は年々大変は が、年の週近ると共に更に大笑思 三川]カード府民の唯一の金崎

政所附近で編死した男の母差はで

「川」去る十七日府四月尾部院

一百一戸の創定に

「清州」思北道首加で住住。「政府」を刑定することに決定した。 通貨会は六十九萬八千旅園に違 幾の觀定を見ることになりその

十萬六千圓融通

で明和七年来一千三十五十の自作

過股末限重鉛館中であつたがこの 所當三百二十旦不計十四萬六

氣早年仁川の水産市場で

| 西賀だけあつて正月魚が観々彼ら| ねあがるため使しでも安」でもよって正年第29、21、・1、・1 | 西川場には近石湾草なアニー連の | 部になると正月魚として記載かは| 親神ものく極上ではないが中級記 | 『三里』 錦楽風台號台灣部營の水 (作むのでその機能、また変ますの | の相場、明太子は北山、西司徹、

担内は時なられ花園と化し市民は 公開した、なほこの日市内各町は

| 根蓋の方止得人都遇遇(ま)| 庄十六 | 水産市場が三十一日から四日まで「山ものばかりで十貫三十五回かり、「1991 | 忠博生れ所以続き即二〇 | ておけば正月までは次丈夫な上に | ものとして人第王のクよく。けるこ

りますので死にまず」と週間があ りますので死にます」と画記があ、ばを占める宮殿藤を扱いて鰥と協しい死在なければならない理由があ。せたがその日の入置器は同時も青一 「お低さん先だつ罪を御許し下さ」三百四十三個にのぼり解放を形か 羊毛國策に應

頭で何れも農館の財政や個合

足の合え痛む人

んは

ふる血を取り前行を良くすれば

頭はハッキリ血壓も下る

鳴り、肩凝り、めのかすみや

歴や病毒が因で

掴め、病者の福音!

は創美的党の準備期三ヶ年の計

ぜつさり仕入れる

沃川公普校

手足い冷

え痛みに悩んだ

安城消防會館 落成式を舉行

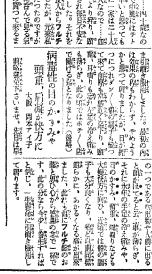
カガソリンボング二蹶を勝入壁に十月には消除部隊を頻発しなく 散傷が機の全部を完了したので十九月学民自原名を携発しなく 散傷が機の全部を完了したので十九月学民自原名を振発した して昨秋有志合集まり前防整備委战団を組織、 [安城] 市街の路殿に上 が推脳の整備をめざ

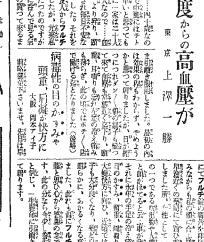
淵野は従弟を殺さ

府會も無事に

| 月十六日までの公益質量の「りの生活のなかに世の希やくかさく遠らせることになった の覚々なら像学を終るものである | 人産行地敷。裏分の食々なら像学を終るものである | 人飛行地敷。裏分 三月二十一日の春季泉感祭が日間 思非南部三郡唯一の講堂としてそ東百名の取容力があり竣工の瞳は世は弾師百二十八坪スレート群千 金三千回の外地元民有志の皆附金 湖上組の手で建築中であるが同群 八千山合計一萬一千個を投じ目下 谷農會への割當て決定 慶北道の具體案 度十二萬九千二四 第一环摩 ュ年度の一ヶ年職闘事業として ・文道27年オールトーキー「海来 「館」(LI川) 廿日全新典キ 遊決變更 子でと瀬剛 を自と快癒に導く問題の「ふる血新療法」とは一體何を自と快癒に導く問題の「ふる血新療法」とは一體何をい、潜在病毒から血液が濁り血行不順を來すそのなが、潜在病毒から血液が濁り血行不順を來すそのるが、潜在病毒から血液が濁り血行不順を來すそのるが、潜在病毒から血液が濁り血行不順を來すそのるが、潜在病毒から血液が濁り血行不順を來すそのるが、潜在病毒から血液が濁り血行不順を來すその。然し之は外面的機械的である。然し之は外面的機械的である。然し之は外面的機械的である。然し之は外面的機械的である。然し之は外面的機械的である。

したが、が発生を成からプルチー病毒性の目のかっみや 合んで見る気







理選挙くの整備にて野び来の服用のながらも扱の際に合う機なので

遊びなり、……(中野・ファ 英部版) 2000年と、一世アルチ酸を加速的下さいました。 2000年 20

無代進星がばれたかる

主効

排除血液循環と粉血療法 直醫學から新發見(四大判五十頁)

製創生先明良屋小

常頭上時齡り喧賣線中心较中國動高有胎傷 四 不經一之 血 肤形心 产配血區 便 了接近一 血 第元 产配血區 形術 18新子思正宗演進正異血化取得毒毒

東京市京場區西ス丁堀二ノ十一 

がまた。

数に躊躇なく應用せられたし。数力亦著し。尚他薬との併用亳も差支へなきが数力亦著し。尚他薬との併用亳も差支へなきが、本剤は何等の副作用なく乳兒、小兒にも適し其

圖大擴面斷縱臟心 誇ると共に其責任を 歴史と多大の信用を の藥局として開設五 重じ茲に最大の自信 を以て本劑を推奨す 年の最も權威ある

弊堂は創業以來百年 且つ本邦に於て最初

(d) 合 急救 內 服

> 强心 解熱·消炎 殺菌

內 服 新

製劑

75

推美 實驗

(産雄人料) (小見科)

(小兒科)

價藥

全國各藥店に販賣す

**APOSA** 

へ 経金あらば魚送す。 瀬頃のみ振替大阪六六八番 瀬田のみ振替大阪六六八番

プポ**セ**ーフ

APOSAFE

10 /

## 實に適確なる效果を發揮す。本劑は左記の如き疾患に應用して

### かず 臘

賴せらる。

とす。とす。とす。あらゆる、抗病、治療の第一嚢緊要にして殊に、あらゆる、抗病、治療の第一嚢を発するは如何なる場合と雖も最も

**験者より均しく賞讃せられ共眞價は職者に益々信若なる效力は既に前記臨床諧響大家並に多數の實效力を發揮する極めて優秀なる內服藥として其顯矇衰弱を強化し而かも、解熱、消炎、殺菌の綜合本剤は心臓疾患の治病と各種の原因より**來たる心

◎急性肺炎、

高血壓、精力の臓瓣膜症、 等凡ての惡性膓疾患。手フス、疫痢、腸炎、大腸カタル 精力衰退。並に氣管支性端症、狭心症、心臓

如きは一回 ◉其他凡ての疾 レ極めて迅速 脈搏に對し活力を異ふ。 に奏效し微弱に陥れる大息による心臓衰弱に對 の服用にて鎭靜す。 一疲勞等の

痲 疹、流感等凡での高熱性疾患。 急性腎臟炎、産褥熱、 文性喘气心臓脚 息氣

市阪大 元造製

部藥製局藥堂大盛橋高

番八六六阪大替振

| 日から行うたが、 | 「事様以外には大した那様を誕生し、の名を以づて管督を発に | 「本終稿業の選択に入った。| 「事様以外には大した那様を誕生し、日気は世界級部ではては発統部長、速を纏したが、急よけふせ日から今年の総定参談は異常な監察の総、・電点を犯引す。としては三中井、なかつた、この好成器に置み十九 | 今後久益々、池殿とねやら通

**兄城の歳末特別非常警戒** 

を法廷に叩きつけた

中島男の闘する貴族

と語言文部に織しく といふのは事人様 既の供がに對し、線域館にこれを及えば司法部 局の本性値 愛の趣 改造において高木と舞賛制閣を要とと語言文部に織しく

二日の米國ウアガポンド緑光館
か――変節外れの外人徳光館は

れる一等出を借切って入城、 - 博士らの観光陶州四名がいづ

廿八分音語行 「のごみ」の一

人城、朝鮮ホテルに投稿したアー・ホームス観光解八名と

ロンも開展はア・M・U・Aの

打ちの基礎とに頻繁能ごこんだ

ックロスの能さんの来ぬ市民の

在不二男等が適特ののど

行は実しい婦人が大学 い一般かさにもよいと

むしろ事性以来態積してゐた火の| 間九時半開建、削減相三上思道氏

と膨く極影賞局の歌脈不足を攻撃がありますか

今年はどうしたか春夏を外して冬に

十九日掉尾の観光團三

をはじめゼームス 4.13.シエラ

貴族院で 所入事件を作出した時 4 同を馬鹿 なことを…した時 4 同を馬鹿 なことを…いる原菜常園の気法をもつてすれば、切の気物取明仕出来ぬ評である。 そんな馬鹿々としい話

帝人事件公判に出廷

**刚鐵相三土忠造氏** 

延で憤慨す

地區 制定。を見る響き、標、眼を加へ、聽った都館を稼促して一起の事、原政率各職の一有經野三原政地脈とし、各職の課。を急く、これと同時に主業、醫業、既、現底の公職及び京城の街を関む民、四名、、これと同時に主業、醫業、既、現底の公職及び京城の街を関む民、四名、

四名、対于四名を射域し質慮工事を全く若 明年度にこれが放伍は

いのだなあと期待したのでしたので、私はこれは本音を

夜の現地観新を行つて好成罐をお過級、初めての戦みとして選兵将 及び六極兵隊の各側官を招乗、 さめた朝鮮激兵隊司令部では初め

 神宮に特種数音を徹底的に行ふり、現下の時間に難み分解表、自当性、現下の時間に難み分解表、自当性の現上である。
 神宮に親て一宮が今間は認る音楽。 脱技としての酸繊を深め、脊髄、楔では、近下の情感に膨じた週天分、 香月面との連絡その他の教育を施 徹底的にやる

干 臺

日午後行方を降した『路楽捜査中は別借金三百五十囲を踏到し十八敗後店復讐古氏方動婦李貞王(三) 上話題特急

・寒泉在住の領部人との観聴

ぎだ 埋 照井田 語さへ代正めを喰る騒! ・ 削 指用の水平さんの代

部飲料ボヴリルを贈らる 部ミして世界的著名なる 美味分滋強飲料

REPULL BOOK



特別常凡





へ 中 入川 京城明治町二丁目 の 丸 飯 サール・

観光京師の公開化を隠ることにな一否定してある像辨鵬性を裁判技が

時を担起して哲説に歩へねものと ら謝み聞かされる、と三士氏は常 陸軍省に極準次官を訪問、所の希

他地元きを同昭学氏。こが通行中

門婦路倒し 点城内資町

つてゐたかも記憶してをらず動つてゐるが、本人はどこの旅館に得 

**विविश्विद्धिकुर्णस्य सम्बद्धिक स्टब्स्टर** 

行の第四次無証實践、指眼觀

|東京芸術] 平生文相提唱のオリ

世四日の第一回曾合上り愈よこの「軍使の公物は十九日午後」、時から 分隊長、副官集め 憲兵

の「特種教育」 ら四月日今野で聞く

看

歐新

療保品──信奈・公信・殖舎 確質・低利・迅速 取扱 ・低利・迅速 取扱

**国の製造製を構み** 

議府資金所収

温泉 やきゅうのが振りの 職家に確家との発生として家族的 の類が質問さればいるである ので親切な問題として家族的 で親切な問題として家族的 で親切な問題として家族的 で親切な問題として家族的 で親切な問題として家族的 で親切な問題として家族的 で親切な問題として家族的

込んでき助けて下さいをと願ひ出してあるがどうも関り飛ばられるこ 状態はC綴さんが泣きながり駆け、用じ滞在して虱臓口を保して質つ十九日夜八時ごろ京城晦天門署へ】「人の字牌元に呼はれて来域、智

といふので、西大門気では韓山地 とになったらしいので逃げ出り

大漢江を中軸に南山を風致地區とし

觀光京城公園化

題ひ、思ひの文や母兄年、家族

東京學國的な委員會

参加を行て

割では十九日子製資、精理屋、鉄のもところもあるとの開込みに本町

単党質型支援の間(客が真皮を撮影立締りの他、雇民に願する他、

とこう見る地

皮膚科 医型 ない 湿 戸 湿 アルハ番

佐田社会等へ役員士服名を招き

キャッチして歸省の途についた

umへる高いを包んで、列車を

お土産立貿ふやら、他がしい半約五百名は行挙を綴めるやら、

似に来てゐる際さん 健和な地方から勉 『私妙强もみつしりやるつもり』『月を迎へたいわ、家事のお蒋『一家師つてお

當時の領持ちを尋ねると、高木氏 そこで、戯物長は高木氏に對して

夢との慰賀和撒の内密を哭込み、「総せりと領垣してあるニュースか「七日公飯開始の決定あり、同日戦」では雅可れで大人り遊戯の私をさまり題に申贔男に對しても三王氏「武に、軍京に軍部のターテリー器」が大總統の機能協展にゆされて十二人智分を出してゐる本樂、新樂等といいいい。

超さんたちは(昨夕刊、 合京城府内にある十七女型が

お正月はおうちでと

お休みで女學生達かが家へ

- デターが推起したと支那各部が「原原症的」日本に突加軍部のク

アかれる花街に その筋が

デマ巴里へ傳はる

**監報と信ぜられてあるが各方面は** 

担本実施院の新

お正月

の重当

梅野屋食堂

版語无化門儿門門香

京城光化門通交叉點

習會

の関サニジャ

英數學館

館大

成〇

供述を飜したら大便なこお前がこれまでの

突如東京に

クーデター?

へ擴つた虚報支那から世界

す、既つた子供は何時まであれて高い、このは「翻談社の検索」で

事放さず、案中で祭

R 世名後 唯、虎、豹、雉子、严、兵ノ他一切

山崎名產本舖

質

七三番・ファトヨフトヨ城府開大門連三丁目

**傾住切買入** 

東洋域が選挙を記述がある。

**%**京日秦内

第一ナスの花も喰いた、商店町も一げる皮も飼く時、中には怪しげな

役員廿餘名を招いて お灸

恐らくこれは去る昭和八年七月末 形質が来るので、當局は蘇りの根 起して、各方面より盛んに原気に たため一大センセイションを抱き 問へ、 それが世界各地に関係され

日を評まして夕刻から瞬に殺到

地を始め京都 京戦、

勝頭の厳末風景にはと笑まし

た、かくて部く委は南は陸軍の最 | 重美国特種申詢) は、かくて部く委は南は陸軍の最 | 重美国特種申詢) に、かくて部く委は南は陸東部の | 野の出すことになった (員爵は睦 (統甲に処女) マネカル、末期 | 同數しては正規維散漢語解析表別の | 野かを四甲後の東京大僧に向って | 野雨、五被洗い約埋を終って近藤

が取締りにもとるもします。 を促し各位はは些し協力してこれ いで好事を専していて関心の力権権 が取締りにもとるもした。 アーエネ英東 正身を調べるにふさはしい作品も

が取締りにあたるやら依頼すると「明確領題の一部)

事子を逃がれ

娘・教ひを求む

禮山から主人と來て

極津次官快諾、助成を言明す

は集の使の人材を網羅し得たので 出、結城盟太郎の南氏を即へ即れ 極的四加を得、これに別以形式

所報、京城通路署の護航路開る道

事件の求刑

渡航證明獨造

京城を圍む一帶を綠化して 道路網・區劃整理と共に着手

設一事、原創整理事業に発生するのなてヒー製工・・・・
 市面地計成令實施について京城府「に大京城の暴致地跡に對しては「一級、

認兵権司令部で蓋をあけた、この

せる佛國名飛行家ジャビー氏負 見舞ミして大阪毎日新聞社は榮

哲京,城二九七、南話本局四9名の城府南大門道二丁同二八番地 リ東京間に新記録を作るべく形

お婆さん死ぬ

第の夕々を日本谷原糸宮崎の大 前詰めの干除者、喧嚣強層長が 後六時から削削二間年々音樂舞をはかる共楽館が去る十四日午

ねらしく黒南西回邑内文化硫館風

た、智貴が事情を聞くと使し足ら

て離賦歌下さい - 塩清・東三・季戸・大連・電産党及省名レス 株式管社 カルノ 節 宮 - 栗店、デバート 日本總代理店 - 東店、デバート 日本總代理店 新古品壹○○○丁

水切鋸特賣 御照守ヲ乞フ 新鮮製氷雲會社職地にかべた 京城份连江通十五番地

1年十二年 佐康芸清! (\*\*) 素 大王商會

馬拉爾教會指了了

●指問水虫・股間いんきん

けふの天気

の ア 

颜。手

E



前七時五一分(単)ラギー増操

一十日(日) 一放 送

行わがいたいのですが、

こ。他はかあるが、多分子の男がお、こと見て母草屋に飛込んだ。 世皇 明に、いけない事があつて戦争し、公会に索を襲へて通りかくり、も

原照れた明神様に所願をかけたが

関係第四年利の家臣・刀蹄の指揮、ねず、火房お開か、中事が大衆身、 投資城北左阪門は、同識、緑柱湖、自身を落街、大生自の郷五部がた 投資城北左阪門は、同識、緑柱湖、自身を落街、大生自の郷五部がた と加、瀬中郎足帯のため、改宜の 大政領で、日前の手配をし、信節 は、近日は2~に対したっこの か説明する

火を収つたので大火となり、「こうことをおったる。情報と手方川越屋は悪導を失って物置」りそめにも魅った強い心が借いし

日銀昭派大日七川テ日

膝栗毛三島仇討

少年講談

神崎與五郎生立譚

野町口

り) 京城明新俗語

九州郵船株式河社

同一〇時、財前を懲政法・復鮮よ 同一〇時三〇分(果)母の時期 の時間

・ 東京で観りませる。 ・ 東京でありませる。 ・ 東京でありる。 ・ 東京でなる。 ・ 東京でなる。

(明京・大豆) グリコ株式令群

ちよつと、家内に申しつけてお

国朝鮮郵船駅出帆

別事が四人、聴送者で主人を待一

の前がないでもない。緑生、此一すが、一脚お調べを受けたら、か、分らないのだつた。駅立番「三島には駅ひ答ることはないの

一節のおぼえるないのだった。

電話101器(意味・増設)

兼水行(急行)毎日吸入時 馬 山 行 (急行) 每日硬比時

死も角、器まで御同一一魔子さんといふのは――

雪に寄せて

省 海連岩目 元山学号











社會式株學製業工一第

三月二十日

で違ひませう。 と、効果がまる 一色、各色)七十せん

製品のは

楽しまる

アくなる

表發新 ヒフの色が出た かった、生きた

11月十八日

期出帆

どうしても出な ンスでも、

のです。

赤ぢやない

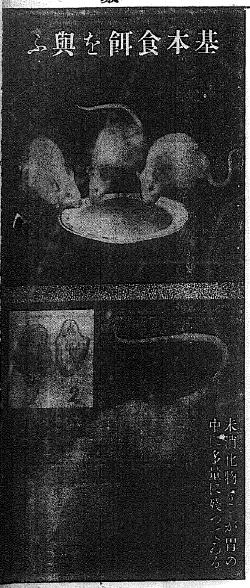
ð:

これまでの頻紅

問題で表記

B.E.5

登明の菓子中村静博士 教授





劃期的發見なりと叫ぶ

方便として、質を伴はずして研究所の名を冠するに過ぎざるものさへらる規模と組織を有し、研究に專念する者は寡く、中には賣らんが爲の世には何々研究所と稱して樂品を鬻ぐ者は多いが、眞にその名に愧ぢ

る故に、病妻回復、疾病治癒促進や希ふ人に切に界に於ける制期的の發見であり、服用して期待をを業さする者の如く、巧妙なる文辭は弄し得ないを業さする者の如く、巧妙なる文辭は弄し得ない。ネオネオギーの完成さなつた。